

2026 年 7 月 21 日

エアバスと LIG Defense & Aerospace、無人航空機的能力向上に向けた戦略的協力を拡大

エアバス（本社：仏トゥールーズ、最高経営責任者：ギヨム・フォーリ）は 21 日、韓国の LIG Defense & Aerospace（以下、LIG D&A）と無人航空機システム（UAS）の次世代技術を探求するため、協力関係を大幅に強化する合意を締結したことを発表しました。これは昨年ソウル国際航空宇宙・防衛産業展示会（ADEX）で結ばれた枠組みに基づくものです。この新たなパートナーシップにより、両社の関係はさらに深化し、急速に進化する世界的な防衛市場の需要に対応するため、技術の統合と共同開発を推進します。

今回の協力拡大において中核となるのは、LIG D&A が開発した高度なセンサーやミッションシステムを、エアバスが設計した最先端の UAS に組み込み、統合させることです。

エアバス・ヘリコプターズのマチュー・ルヴォ最高経営責任者（CEO）は次のように述べています。「今回の合意は、LIG D&A との関係において重要なマイルストーンとなります。私たちは、高いレベルでの協力体制にとどまらず、技術と運用面におけるより具体的な協働へと踏み出します。LIG D&A のミッション機器とセンサーをエアバスの高度な UAS に組み込み、人工知能（AI）や滞空時間の延長における画期的な革新技術を共同で探求することで、韓国および世界中で重要な防衛・安全保障のニーズに応えることが可能な、将来にわたって有効な製品を提供する体制を築いていきます」

LIG D&A のシン・イクヒョン CEO は次のように述べています。「この合意は、私たちの最先端センサーとミッションシステム技術を、エアバスの次世代 UAS と組み合わせるといふ、明確なビジョンの共有を示すものです。AI 駆動型センサー融合技術の開発や、滞空時間の向上に向けて共同で取り組むことにより、私たちはエアバスと共に、韓国およびグローバル市場の進化する防衛・安全保障ニーズを満たす、将来にわたり実用的なソリューションを提供していきます」

この合意に基づき、両社は高度なミッション装備やシステムソリューションの統合について共同で探求します。情報・監視・偵察（ISR）および対潜水艦戦の能力向上を目的とし、最終的には進化する防衛要件を満たす、極めて汎用性が高く、優れた任務遂行能力を備えた UAS の開発を目指します。

両社はまた、こうしたシステムや機器の統合と並行して、UAS 全体の性能をさらに引き出す相乗効果を探る、共同技術研究を立ち上げます。研究では、AI を含む先進技術を探求し、無人航空機と地上管制局の双方にわたる任務稼働時間と運用効率の向上を図ります。

Follow us

If you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.com

If you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com



覚書（MoU）を締結したLIG D&Aのシン・イクヒョン CEO（左）とエアバス・ヘリコプターズのマチュー・ルヴォ CEO

Newsroom

リリースに関するお問い合わせ先：エアバス・ジャパン株式会社

藤宗宇多子
03-5775-0133
utako.fujiso@airbus.com

野坂孝博
03-5775-0129
takahiro.nosaka@airbus.com

Follow us



If you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.com
If you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com